

「アジェンダ21」とは「21世紀への課題」という意味です。「アジェンダ21すいた」は、市民・事業者・行政が力を合わせて、持続可能な社会の実現を目指すパートナーシップ組織です。

ニュースレター

CONTENTS

- 十五夜ムーンライトコンサート・・・・・・・・・・1
- 「みどりのカーテン」写真コンクール結果・・・・5
- 食品ロス削減について・・・・・・・・・・2
- 廃油を使ったエコキャンドル作り講座・・・・6
- 自然観察会と大木調査・・・・・・・・・・3,4
- 第5回水道フェア、第48回すいた祭り・・・・7
- 吹田市環境部環境政策室からNEWS！！・・・・4
- 各種募集・イベント案内・・・・・・・・・・8

十五夜ムーンライトコンサート(フラッグシッププロジェクト)

「STOP! 地球温暖化」をメインテーマに、「すいたクールアース大作戦」のイベントとして、中秋の名月の10月4日(水)夜6時から9時まで、千里南公園の野外ステージで「十五夜ムーンライトコンサート」を開催しました。

前々日は一日雨、前日も朝に小雨が降り、コンサート当日のお天気は大丈夫かな?地面は湿っていないかな?と心配していましたが、朝からとても良いお天気でした。コンサート途中、お月様が少し雲に隠れたときもありましたが、雲の後ろにぼんやりと光るお月様、雲間に見えるお月様、それぞれ風情があり、とてもよいコンディションでした。

コンサートの第一部はギター独奏、アカペラ、コーラスと器楽演奏、第二部は琵琶演奏でした。ステージ横の展示ブースでは、エコな電気のご協力をいただいた(株)大久のソーラーパネルや電気自動車、ホームセンターコーナンの省エネ製品などを展示しました。また、照明や音響は吹田市文化振興事業団、ステージの周りに置いた竹あかりの竹の筒はNPO法人すいた環境学習協会から、そしてステージに掲げるタイトル題字は書作家の梅原千鶴さんにご協力いただきました。

また、ステージの後ろの牛ヶ首池の向こうのほとりに、お月見に最適のスポットがあり、公園入口からその場所にいざなう「お月見キャンドルロード」も設置しました。

このイベントで使用した照明や音響などの電源は、太陽光発電の電気を充電した電気自動車からの配電で賄いました。CO₂排出もほぼゼロで、「アジェンダ21すいた」にぴったりのエコなイベントになりました。

企画確定から開催まで時間がない中、どのくらいの方が参加してくださるか心配でしたが、およそ200名の方が参加してくださいました。親子で、カップルで、ペットを連れて、というように、さまざまな方が、自由なスタイルで、地面にシートを敷いて座って、コンサートを楽しんでいただきました。「月夜のコンサート、とてもよかった」「また来年も開催してほしい」という声とともに「暖かい飲み物もあっていいね」というリクエストもありました。今回の経験や反省を踏まえてさらにより企画にしたいと思います。(池渚 佐知子)



月明かりの下で、琵琶の演奏



省エネグッズの紹介ブース

食品ロス削減について(フラッグシッププロジェクト)

フラッグシッププロジェクト会議「食品ロス削減」が立ち上がりました。

膨大な「食品ロス」が問題になっています。

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられている食べ物のことです。

事業系が339万トン、家庭系は282万トン、さて、何の数字でしょうか？これは、日本全体（平成26年度）における食品ロスの量を農水省・食料産業局が推計したものです。全体では621万トンもの食品ロスが生じます。国民一人当たりになると、約134g（茶碗約1杯分のご飯に相当）を毎日捨てている計算になります。日本の食糧自給率（カロリーベース）は39%（平成27年度）で、大半を輸入に頼っているのが現状ですが、私たちは食品をかくも粗末に扱っているのです。



手つかずのまま捨てられた食品

映画「もったいない」

現状を知ろうと、平成29年7月17日（月・祝）の「アジェンダ21すいた」総会において、深刻な食品ロスを描いたドイツのドキュメンタリー「もったいない（2011年）」を上映しました。

曲がったキュウリは店頭には並ばないのが普通です。規格外の野菜や果物も売り物にならず現地で捨てられることが多いといいます。バナナの栽培のために森林を伐採してバナナの大規模農場を作っても、収穫したバナナの8%しか出荷できないのだそうです。

スーパーの陳列棚は、常に満杯で、新鮮なものが並んでいなければなりません。パン屋では、出来立てパンが、一日に何回も店頭には並びます。店の裏には食品廃棄物の山・山・山。

しかし、全く救いがない映画ではありません。フードバンクは、廃棄される食品を必要な人に再分配する活動で、世界のあちこちで生まれています。ごみ箱ダイバーというのは、文字通り、日常のごみ箱にダイビングし、中から賞味期限切れ間近の野菜や加工食品を拾って再利用する人たち（ホームレスではない）のことで、十分食べられる食品を大量に廃棄することの方がおかしいと訴えます。ここに描かれている状況は、決して遠い諸外国のことでなく、日本のスーパーでも消費期限が近い弁当が短時間で棚から降ろされ、大量の廃棄食品をリサイクルしている業者の作業員が嘆く場面が映し出されました。

私達はどうすればよいのでしょうか？

消費期限とは弁当やサンドイッチ、惣菜など早く劣化し、製造後5日後程度までに安全でなくなる可能性のある食品に表示され、過ぎたら食べない方がよい食品のことです。

賞味期限は美味しく食べられる期限で、過ぎてもすぐに食べられなくなるわけではありません。私たちは、消費期限と賞味期限を正しく理解し、賢く買い物をする必要があります。

また、外食する際に飲食店でご飯の大・中・小が選べるとうれしいですね。そんな情報をHPに載せたり、食品ロスを防ぐための先進事例を収集し、効果的に発信して行きます。

（資源部会 水川 晶子）

皆さんも一緒にこのプロジェクト会議に参加しませんか？

メンバーを募っています！！

ご興味のある方は、「アジェンダ21すいた」事務局（吹田市環境政策室内）まで。

電話：06-6384-1782 メール：env-seisaku@city.suita.osaka.jp

自然観察会と大木調査(自然部会)

9月10日(日)と24日(日)、自然部会はNPO法人すいた市民環境会議(以下、環境会議)との共催で「大木調査」を実施しました。

大木は長い時間をかけて生長するもの。生えている場所に大きな環境の変化がないことが条件です。自然災害や人為的な伐採、土地の改変などがあれば存在できません。大木があるということはその土地が安定して続いているということの証明、環境の安定指標となります。たとえ植えられたものであっても人々の安らぎとなり、吹田のような市街地では大変貴重な存在といえるでしょう。

環境庁(現:環境省)は全国的な大木の調査を1988年と2000年に実施し、68,945本を記録しました。この調査では大木を幹回り3m以上のものとし、大阪府では679本、吹田市では13本という結果が出ています。環境会議は、吹田の大木の基準を幹回り2mとし、実際に大木がどこに何本あるのか調べてみよう、1997年から10年ごとに市内をくまなく歩いて調査しました。2007年の調査では928本、そのうち3m以上のものは61本もありました。今年は3回目の調査。自然部会では生物多様性について考えるためにもまずは身近な自然を知ることが大切と考え、その調査に参加しました。

調査場所は千里南公園。参加者は一般参加者とアジェンダスタッフで7人、環境会議から9人。まず講師の平軍二さんから調査の意義をお聞きしたあと、公園入口から池の西側に沿って歩き、現地で調査方法を教わりました。2m以上ありそうな木があれば、胸高130cmのところを幹回りを測定。樹高計を使って樹高を測り、GPSで生育場所の緯度・経度を確認。写真も撮ります。そしてこれらを調査票に記入します。それぞれ担当を決め、手際よく木から木へと調査が進みます。参加者の皆さんも機器の操作を学びながら積極的に動きました。「調査は思ったより大変だけど健康的だしおもしろい」「市民がこんな大変な調査しているなんて驚き」などとおしゃべりしていると、調査グループに遅れそうになって大慌て。残暑の厳しさもあって、牛ヶ首池の西側まで本調査したところで調査を終え、次回24日(日)に持ち越しとしました。この日は、2007年大木11本のうち9本現存、新規追加17本を合わせて、トータル26本が合格となりました。(Page 4へ続く・・・)



9月10日 大木に取り付いて調査 幹回りを測る人、GPSで位置情報を得る人、樹高を測る人、写真撮影のための番号を掲げる人、記録を採る人 みなさん、大忙しです



9月24日 全員集合

(・・・Page 3からの続き) 24日(日)は一般1人とアジェンダスタッフ3人、環境会議9人、小学生の男の子も参加です。平さんから「みなさん慣れたらから、今日はテキパキやりましょう!」。今回は池の東からスタートして公園北から高野台へと向かいます。途中、高野台が再開発されていたり、プールが更地になっていたり、また伐採された切り株をみたりしました。再開発やいろいろな事情によって都市では大木が生きづらいことを実感しました。男の子が元気に走りまわって私たちに力をくれたので、テキパキ調査した結果、1日の調査本数が今までで最大の48本となりました。ご参加くださったみなさん、ありがとうございました。

この第Ⅲ回大木調査ではすでに大木が1000本を超えたとのこと。吹田の大木は増えているんですね。調査結果は次年度に発表されるとのことです。

(調査に参加希望の方 問合せ:平さん 090-6901-1425)

(自然部会 喜田 久美子)

吹田市 環境部 環境政策室から、NEWS!!

リアル! 脱出体験ゲーム(大阪大学環境サークル G E C S)

8月27日(日)、吹田市資源リサイクルセンターで、G E C Sの学生たちが環境学習イベントを開催しました。このイベントは、謎を次々と解き明かしていき、温暖化が進む世界から脱出するというゲームです。小さな子どもたちも楽しみながら学べるイベントで、参加した100名程の親子連れは、時間を忘れて謎解きに夢中になってくれていたのではないかと感じました。最後には、ゴールした参加者全員が、「STOP! 地球温暖化~!」と大きな声誓ってくれました。

市立吹田サッカースタジアム・啓発パフォーマンス

9月9日(土)市立吹田サッカースタジアムで、ガンバ大阪VSヴィッセル神戸戦のハーフタイムに吹田市公式キャラクター「すいたん」が登場し、「つなげよう、支えよう、森・里・川・海」、「未来の子供たちに豊かな自然を残そう」という環境メッセージが書かれた大型パネルを持ってピッチを周回するという啓発パフォーマンスを披露。

W杯で勝利のゴールを決めた井手口陽介選手も出場した試合で、入場者数も3万人を超えていた会場。皆さんにとって、未来の環境について考えるきっかけとなっていれば幸いです。

会場外のブースでは、「アジェンダ21すいた」も、「すいた、わたしのエコ宣言」を約400枚収集しました!



スタジアムの観客席からみたパフォーマンス



関西大学良永ゼミ&大阪大学環境サークルG E C S

「みどりのカーテン」写真コンクール結果発表！！

(自然部会、エネルギー部会)

今年の「みどりのカーテン」写真コンクールには、7名9点の応募がありました。近年は、地球温暖化防止のためエコの意識も高くみどりのカーテンに取り組まれてる方もたくさんおられます。そんな中、応募してくださった方々の写真を紹介します。今年度は、みなさんにタイトル付参加賞を送ります。



みどりゆたかで賞



カラフルで賞



うさぎも喜ぶで賞



あざやかで賞



涼しげで賞



クールバルコニーで賞



成長中で賞

吹田市役所本庁舎にも、みどりのカーテンを設置

とても素敵な作品をご応募くださり、誠にありがとうございました。植物の力で室内の温度上昇を和らげ、さらに収穫もできる「みどりのカーテン」。

Let's クールアース！

できることから、コツコツと取り組んでいきたいですね。

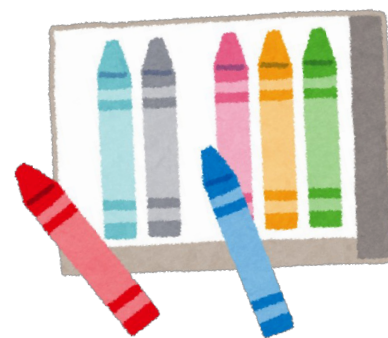
(自然部会 馬場多佳子)

「廃油を使ったエコキャンドル作り講座」(エネルギー部会、資源部会)

7月23日(日)11時から12時、吹田市立博物館2階講座室において、「第4回廃油を使ったエコキャンドル講座」を開催しました。

参加希望者は、50名以上でしたが、定員30名のため抽選で30名を決定しました。当日は、1名欠席があり、参加者は小学生29名(4年生以下は保護者同伴)で実施いたしました。

「アジェンダ21すいた」エネルギー部会の奥田さんが講師を担当し、キャンドル作りの手順にしたがって順調



溶かした廃油を固めているところ



エコキャンドルのサンプル

に進めていられました。

特に今回は、キャンドルが固まるまで間、エコクイズを用意し行いました。皆さん積極的に回答をしてくれ、楽しかったようです。

今回も全員が楽しんで講座を受講してくれ、好評でした。ありがとうございました。

ただ、一部の方がクレパスを使ったために溶けずやり直しました。これは、今後の反省点です。

(エネルギー部会 福井 一彦)

次回の講座予告！

「廃油を使ったエコキャンドル作り講座」

日 時：12月9日(土)14時～15時

会 場：吹田市立千里新田地区公民館

☆詳しくは、8ページを見てね！

☆費用は、無料！ぜひ、遊びに来てね！



「アジェンダ21すいた」のスタッフからエコキャンドルの作り方を学ぶ子どもたち

第5回水道フェア「すいすいくん祭りに参加して」

吹田市水道局は、市民に水道を身近に感じてもらうために毎年「すいすいくん祭り」を開催しています。今年は、第5回水道フェアが晴天の7月23日（日）に開催されました。

NPO法人すいた環境学習協会のエコクラフトクラブは、市の環境政策室からの要請で「あそび・まなび・防災・出店」エリアの出店コーナーに、今年初めて、水鉄砲作製材料100セットと完成品15セットとバンブーアート作製キットを100セット準備して参加しました。開門の10時前から親子連れの入場者による長蛇の列が出来ていて、開門と同時に会場は満員状態の賑わいを見せていました。エコクラフトクラブの出店コーナーも大人気で開始早々に行列が出来て、児童たちに作製方法を指導しながら用意した100セットは早々に品切れ状態に成りました。午後からは「金魚・ばら」のバンブーアート体験教室を開催しましたが、これも大人気で準備したキットはほぼ完売状況。エコクラフトクラブが予想していた以上の来場者で、次回要請が有れば対応を検討する必要を感じました。

また、市政策室からの要請で「第48回吹田まつり」のスプラッシュパーティーに吹田市内の竹林の竹で製作した水鉄砲126本を児童たちに配布用として参加しました。スプラッシュパーティーでは市販の大型の水鉄砲が主流で手製の水鉄砲は影が薄かった様で次回要請が有れば発射場所等方法を検討する必要を感じました。

（NPO法人すいた環境学習協会 すいたエコクラフトクラブ 小川 昇正）



竹の水鉄砲作り

第48回すいた祭り「すいたスプラッシュパーティー」

7月30日（日）、地球温暖化防止を目的とした「すいた、わたしのエコ宣言」活動のため、ブースを吹田まつり本会場の一角に設け、「エコ宣言」の写真撮影を呼びかけました。

この日は天気が良く、男の子、女の子、お母さん、お父さん、楽しそうなカップル、にぎやかな女の子グループなど、多くの来場者であふれていました。当日は参加者同士が水をかけ合うスプラッシュパーティーもあり、NPO法人すいた環境学習協会の皆様が製作した竹の水鉄砲を無料配布していました。このプログラムも大好評だったようで、いろいろな方々のおかげで、まつりへの参加者も多かったようです。

初の試みであり、どんな反応になるか心配していましたが、「すいた、わたしのエコ宣言」コーナーの前には順番待ちの行列ができるほど盛況でした。「近くに出かけるときは車を使わずに自転車か歩いて行こう」の宣言文を掲げ、誇らしげな小学生の男の子、すまし顔の若いお母さんなど、宣言文を胸の前に持ってもらって写真撮影に応じていただき、多くの方が参加してくれました。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。「わたしのエコ宣言」をした内容を忘れずに実践していただきたいと思います。



旭通り商店街でスプラッシュパーティー

（エネルギー部会 三宅勝弘）

各種募集・イベント案内

廃油を使ったエコキャンドル作り講座

下水処理場に悪影響を及ぼす食用廃油を有効活用し、キャンドルを作ってみませんか？
食用廃油があれば、お持ちください！

- ◆とき／12月9日（土）14時～15時
- ◆ところ／吹田市立千里新田地区公民館
- ◆定員／20名 ◆費用／無料
- ◆申込み／事前申込み要 ◆申込み締切日／12月8日（金）
- ◆申込み・問合せ／吹田市立千里新田地区公民館（TEL：06-6389-8452）へ
- ◆持ち物：エプロン、カッターナイフ、ジャムやプリンのガラス容器



エコサポすいた公開講座～平成29年度 すいた環境サポーター養成講座から～

環境と経済はどこまで両立できるか？トランプ政権のパリ協定離脱、欧州や中国のガソリン車廃止方針など、世界のニュースを題材に、環境と経済と技術の関係をあらためて考えます。おやこワークショップでは、水の生きものぬり絵や指ヨガ・ストレッチをします。

- ◆とき／1月27日（土）11：40～12：40（おやこワークショップ 10：30～11：30）
- ◆ところ／千里山コミュニティセンター
- ◆講師／山内 直人 教授（大阪大学大学院 国際公共政策研究科）
- ◆定員／100人（先着順）
- ◆申込み／事前申込不要
- ◆費用／無料
- ◆主催・問合せ／吹田市環境部環境政策室へ（電話：06-6384-1701）

すいた環境教育フェスタ2018を開催します！

エコクラフト教室やパネル展示等、楽しみながら環境問題について学んでみませんか？

- ◆とき／平成30年2月3日（土）午前10時30分から午後3時30分
- ◆ところ／吹田市資源リサイクルセンター（くるくるプラザ） ◆主催／吹田市
- ◆その他／入場無料、隣接の吹田市資源エネルギーセンターで公益財団法人千里リサイクルプラザ主催「環境学習発表会」を同時開催。
- ◆問合せ／吹田市環境部環境政策室（TEL：06-6384-1782）へ。

ホームページで、イベント情報や活動スケジュールなどをお知らせしています。

イベント情報や活動スケジュールなどの情報を掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。
ホームページ <http://www.ag21suita.org/>

アジェンダ21すいた入会のご案内

持続可能な社会をめざして、一緒に活動しましょう！

【会費】

- ◆正会員 個人1,000円／年
団体5,000円／年
- ◆賛助会員 1口1,000円／年
- ◆準会員 無料

【会員特典】

ニュースレター・各種案内資料の送付
部会活動への参加、主催行事への参加など

アジェンダ21すいたニュースレター

第44号（平成29年10月25日発行）

発行：アジェンダ21すいた 事務局
〒564-8550 吹田市泉町1-3-40
吹田市環境部環境政策室内
TEL：06-6384-1782 FAX：06-6368-9900
E-mail：env-seisaku@city.suita.osaka.jp
企画・編集：アジェンダ21すいた 『エコセン』